令和 5 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　愛知県　　総務省

ー 目次 ー

市町村・組合名	病院名	ページ
-	精神医療センター	2
-	愛知病院	3
-	循環器呼吸器病センター	4
-	がんセンター	5
-	あいち小児保健医療総合センター	6
豊橋市	豊橋市民病院	7
岡崎市	岡崎市民病院	8
岡崎市	岡崎市立愛知病院	9
一宮市	一宮市立市民病院	10
一宮市	一宮市立木曽川市民病院	11
半田市	半田病院	12
春日井市	春日井市民病院	13
豊川市	豊川市民病院	14
津島市	津島市民病院	15
碧南市	碧南市民病院	16
西尾市	西尾市民病院	17
蒲郡市	蒲郡市民病院	18
常滑市	常滑市民病院	19
小牧市	小牧市民病院	20
稲沢市	稲沢市民病院	21
新城市	新城市民病院	22
知多市	知多市民病院	23
高浜市	市立病院	24
みよし市	みよし市民病院	25
あま市	あま市民病院	26
公立陶生病院組合	公立陶生病院	27
西知多医療厚生組合（事業会計分）	西知多総合病院	28

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	
病院名	精神医療センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,688 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	臨
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	273	63.4	57.3	51.6
感染症	-	-	-	-
計	273	63.4	57.3	51.6
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		7,542,415
決算規模 (千円)		2,547,795,499
標準財政規模 (千円)		1,440,405,836
財政力指数		0.86176
経常収支比率 (%)		99.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.2
	将来負担比率 (%)	162.3

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,870,435			
１ 経常収益	3,870,435			
（1）医業収益	2,338,081			
（うち修正医業収益）	2,247,209			
① 入院収益	1,762,732			
② 外来収益	465,989			
診療収入計	2,228,721			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	109,360			
（うち他会計負担金）	90,872			
（2）医業外収益	1,532,354			
（うち国・都道府県補助金）	370,555			
（うち他会計補助・負担金）	862,636			
（うち長期前受金戻入）	55,763			
（うち資本費繰入収益）	214,195			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	4,014,844			
２ 経常費用	4,014,844			
（1）医業費用	3,818,943			
① 職員給与費	2,417,346	103.4	58.7	104.5
② 材料費	255,965	10.9	26.9	9.7
（うち薬品費）	226,290	9.7	14.8	6.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	27,403	1.2	11.7	1.6
③ 減価償却費	469,435	20.1	8.5	12.8
④ 経費	669,470	28.6	21.5	34.3
（うち委託料）	434,220	18.6	11.5	15.4
⑤ 研究研修費	6,421			
⑥ 資産減耗費	306			
（2）医業外費用	195,901			
（うち支払利息）	56,002	2.4	0.9	2.2
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-144,409			
損益 純損益	-144,409			
累積欠損金	12,920,394			
経常収支比率	96.4		96.5	98.6
医業収支比率	61.2		86.0	61.2
修正医業収支比率	58.8		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	24.6		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	40.8		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	24.6		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	72.7		85.4	64.6

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	45,714,117
１ 固定資産	38,414,787
（1）有形固定資産	36,504,630
（2）無形固定資産	43,254
（3）投資その他の資産	1,866,903
２ 流動資産	7,299,330
（1）現金及び預金	1,519,777
（2）未収金及び未収収益	5,582,722
（3）貸倒引当金（△）	92,275
（4）貯蔵品	275,154
３ 繰延資産	-
負債合計	44,064,419
１ 固定負債	31,723,268
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,298,915
（2）その他の企業債	1,082,528
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	3,300,000
（5）引当金	6,571,332
（6）リース債務	2,470,493
２ 流動負債	7,884,679
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,165,500
（2）その他の企業債	106,726
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	1,139,341
（6）リース債務	731,104
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	3,490,062
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	4,456,472
（1）長期前受金	10,242,735
（2）長期前受金収益化累計額（△）	5,786,263
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,649,698
１ 資本金	46,110,007
２ 剰余金	-44,460,309
（1）資本剰余金	1,029,213
（2）利益剰余金	-45,489,522
負債・資本合計	45,714,117
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	953,382	953,508
資本勘定繰入	214,195	214,327
計	1,167,577	1,167,835

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	136.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	
病院名	愛知病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		7,542,415
決算規模 (千円)		2,547,795,499
標準財政規模 (千円)		1,440,405,836
財政力指数		0.86176
経常収支比率 (%)		99.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.2
	将来負担比率 (%)	162.3

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	168,977			
1 経常収益	152,907			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	152,907			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	3,802			
(うち長期前受金戻入)	3,002			
(うち資本費繰入収益)	124,325			
(3) 特別利益	16,070			
(うち他会計繰入金)	16,070			
総費用	200,271			
2 経常費用	191,976			
(1) 医業費用	175,838			
① 職員給与費	22,522	-	58.7	63.9
② 材料費	-	-	26.9	21.1
(うち薬品費)	-	-	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	10.2
③ 減価償却費	153,821	-	8.5	9.3
④ 経費	-505	-	21.5	28.2
(うち委託料)	68	-	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	16,138			
(うち支払利息)	3,202	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	8,295			
損益 経常損益	-39,069			
損益 純損益	-31,294			
累積欠損金	10,530,376			
経常収支比率	79.6		96.5	93.2
医業収支比率	-		86.0	81.2
修正医業収支比率	-		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	2.5		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	11.8		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	77.7		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額 (△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	19,872	19,872
資本勘定繰入	124,325	124,325
計	144,197	144,197

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	136.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	
病院名	循環器呼吸器病センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		7,542,415
決算規模（千円）		2,547,795,499
標準財政規模（千円）		1,440,405,836
財政力指数		0.86176
経常収支比率（%）		99.8
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.2
	将来負担比率（%）	162.3

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	37,349			
1 経常収益	37,349			
（1）医業収益	37,349			
（うち修正医業収益）	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	37,349			
（うち他会計負担金）	37,349			
（2）医業外収益	-			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	-			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	148			
2 経常費用	148			
（1）医業費用	-328			
① 職員給与費	-	-	58.7	89.5
② 材料費	-	-	26.9	13.4
（うち薬品費）	-	-	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.7	5.5
③ 減価償却費	-	-	8.5	14.0
④ 経費	-328	-0.9	21.5	46.3
（うち委託料）	62	0.2	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	476			
（うち支払利息）	-	-	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	37,201			
損益 純損益	37,201			
累積欠損金	9,254,538			
経常収支比率	25235.8		96.5	97.3
医業収支比率	-11386.9		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	100.0		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
2 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
2 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（△）	-
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	37,349	37,349
資本勘定繰入	-	-
計	37,349	37,349

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	136.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	
病院名	がんセンター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Ｉ　訓　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	70,840 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	27	指定病院の状況	臨　が　特
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	500	66.6	59.9	64.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	66.6	59.9	64.8
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	10.9	11.2

設立団体の状況		
人口 (人)		7,542,415
決算規模 (千円)		2,547,795,499
標準財政規模 (千円)		1,440,405,836
財政力指数		0.86176
経常収支比率 (%)		99.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	13.2
	将来負担比率 (%)	162.3

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,517,927			
１ 経常収益	25,517,927			
（１）医業収益	22,304,114			
（うち修正医業収益）	21,123,156			
① 入院収益	9,774,369			
② 外来収益	10,298,439			
診療収入計	20,072,808			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	2,231,306			
（うち他会計負担金）	1,180,958			
（２）医業外収益	3,213,813			
（うち国・都道府県補助金）	64,711			
（うち他会計補助・負担金）	1,827,048			
（うち長期前受金戻入）	137,686			
（うち資本費繰入収益）	657,830			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	25,267,649			
２ 経常費用	25,267,649			
（１）医業費用	23,920,210			
① 職員給与費	8,905,718	39.9	58.7	51.4
② 材料費	9,697,565	43.5	26.9	32.6
（うち薬品費）	7,056,399	31.6	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	2,546,400	11.4	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,376,651	6.2	8.5	7.4
④ 経費	3,226,669	14.5	21.5	16.9
（うち委託料）	1,812,119	8.1	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	675,472			
⑥ 資産減耗費	38,135			
（２）医業外費用	1,347,439			
（うち支払利息）	38,839	0.2	0.9	0.8
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	250,278			
損益 純損益	250,278			
累積欠損金	1,400,178			
経常収支比率	101.0		96.5	97.6
医業収支比率	93.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	88.3		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	11.8		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	89.1		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	45,714,117
１ 固定資産	38,414,787
（１）有形固定資産	36,504,630
（２）無形固定資産	43,254
（３）投資その他の資産	1,866,903
２ 流動資産	7,299,330
（１）現金及び預金	1,519,777
（２）未収金及び未収収益	5,582,722
（３）貸倒引当金（△）	92,275
（４）貯蔵品	275,154
３ 繰延資産	-
負債合計	44,064,419
１ 固定負債	31,723,268
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,298,915
（２）その他の企業債	1,082,528
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	3,300,000
（５）引当金	6,571,332
（６）リース債務	2,470,493
２ 流動負債	7,884,679
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,165,500
（２）その他の企業債	106,726
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,139,341
（６）リース債務	731,104
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	3,490,062
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	4,456,472
（１）長期前受金	10,242,735
（２）長期前受金収益化累計額（△）	5,786,263
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,649,698
１ 資本金	46,110,007
２ 剰余金	-44,460,309
（１）資本剰余金	1,029,213
（２）利益剰余金	-45,489,522
負債・資本合計	45,714,117
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,956,974	3,008,006
資本勘定繰入	657,838	657,838
計	3,614,812	3,665,844

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	136.0
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	
病院名	あいち小児保健医療総合センター

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	Ｉ未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,437 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	32	指定病院の状況	救臨
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	200	59.8	55.9	57.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	200	59.8	55.9	57.9
平均在院日数（一般病床のみ）		4.4	4.4	5.0

設立団体の状況

人口（人）		7,542,415
決算規模（千円）		2,547,795,499
標準財政規模（千円）		1,440,405,836
財政力指数		0.86176
経常収支比率（%）		99.8
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.2
	将来負担比率（%）	162.3

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,393,073			
１ 経常収益	11,393,073			
（１）医業収益	8,764,109			
（うち修正医業収益）	7,690,502			
① 入院収益	5,641,303			
② 外来収益	1,966,128			
診療収入計	7,607,431			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,156,678			
（うち他会計負担金）	1,073,607			
（２）医業外収益	2,628,964			
（うち国・都道府県補助金）	208,868			
（うち他会計補助・負担金）	1,531,918			
（うち長期前受金戻入）	68,437			
（うち資本費繰入収益）	766,341			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	11,683,450			
２ 経常費用	11,683,450			
（１）医業費用	11,126,324			
① 職員給与費	5,801,670	66.2	58.7	63.9
② 材料費	2,443,789	27.9	26.9	21.1
（うち薬品費）	1,382,736	15.8	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,057,516	12.1	11.7	10.2
③ 減価償却費	836,856	9.5	8.5	9.3
④ 経費	1,995,179	22.8	21.5	28.2
（うち委託料）	1,103,312	12.6	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	46,475			
⑥ 資産減耗費	2,355			
（２）医業外費用	557,126			
（うち支払利息）	99,820	1.1	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-290,377			
損益 純損益	-290,377			
累積欠損金	11,384,036			
経常収支比率	97.5		96.5	93.2
医業収支比率	78.8		86.0	81.2
修正医業収支比率	69.1		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	22.9		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	29.7		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	22.9		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	75.2		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	45,714,117
１ 固定資産	38,414,787
（１）有形固定資産	36,504,630
（２）無形固定資産	43,254
（３）投資その他の資産	1,866,903
２ 流動資産	7,299,330
（１）現金及び預金	1,519,777
（２）未収金及び未収収益	5,582,722
（３）貸倒引当金（△）	92,275
（４）貯蔵品	275,154
３ 繰延資産	-
負債合計	44,064,419
１ 固定負債	31,723,268
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,298,915
（２）その他の企業債	1,082,528
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	3,300,000
（５）引当金	6,571,332
（６）リース債務	2,470,493
２ 流動負債	7,884,679
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,165,500
（２）その他の企業債	106,726
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,139,341
（６）リース債務	731,104
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	3,490,062
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	4,456,472
（１）長期前受金	10,242,735
（２）長期前受金収益化累計額（△）	5,786,263
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,649,698
１ 資本金	46,110,007
２ 剰余金	-44,460,309
（１）資本剰余金	1,029,213
（２）利益剰余金	-45,489,522
負債・資本合計	45,714,117
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,600,881	2,605,525
資本勘定繰入	766,341	766,341
計	3,367,222	3,371,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	136.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	豊橋市
病院名	豊橋市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	64,039 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	36	指定病院の状況	救臨が感へ災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	780	85.3	80.9	80.1
療養	-	-	-	-
結核	10	30.0	43.5	44.0
精神	-	-	-	-
感染症	10	0.1	1.4	5.9
計	800	83.6	79.4	78.7
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	11.2	11.9

設立団体の状況

人口（人）		371,920
決算規模（千円）		144,248,485
標準財政規模（千円）		75,788,824
財政力指数		0.98
経常収支比率（%）		90.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	5.1
	将来負担比率（%）	27.1

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	36,640,159			
１ 経常収益	35,968,444			
（１）医業収益	34,024,027			
（うち修正医業収益）	33,231,760			
① 入院収益	19,361,029			
② 外来収益	13,384,009			
診療収入計	32,745,038			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,278,989			
（うち他会計負担金）	792,267			
（２）医業外収益	1,944,417			
（うち国・都道府県補助金）	554,786			
（うち他会計補助・負担金）	659,292			
（うち長期前受金戻入）	509,810			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	671,715			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	34,996,172			
２ 経常費用	34,996,172			
（１）医業費用	33,694,169			
① 職員給与費	13,850,157	40.7	58.7	51.4
② 材料費	13,055,792	38.4	26.9	32.6
（うち薬品費）	8,503,243	25.0	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	4,549,138	13.4	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,820,212	5.3	8.5	7.4
④ 経費	4,819,301	14.2	21.5	16.9
（うち委託料）	3,099,851	9.1	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	107,459			
⑥ 資産減耗費	41,248			
（２）医業外費用	1,302,003			
（うち支払利息）	143,666	0.4	0.9	0.8
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	972,272			
損益 純損益	1,643,987			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.8		96.5	97.6
医業収支比率	101.0		86.0	91.7
修正医業収支比率	98.6		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.0		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	4.3		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	4.0		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	98.6		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	45,058,044
１ 固定資産	27,198,418
（１）有形固定資産	26,252,098
（２）無形固定資産	109,254
（３）投資その他の資産	837,066
２ 流動資産	17,859,626
（１）現金及び預金	12,033,507
（２）未収金及び未収収益	5,807,282
（３）貸倒引当金（△）	19,244
（４）貯蔵品	36,880
３ 繰延資産	-
負債合計	22,953,317
１ 固定負債	12,532,943
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,690,821
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	5,259,293
（６）リース債務	582,829
２ 流動負債	6,268,175
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,171,010
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	812,693
（６）リース債務	87,744
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	3,086,426
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	4,152,199
（１）長期前受金	21,774,838
（２）長期前受金収益化累計額（△）	17,622,639
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	22,104,727
１ 資本金	11,773,501
２ 剰余金	10,331,226
（１）資本剰余金	396,495
（２）利益剰余金	9,934,731
負債・資本合計	45,058,044
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,451,654	1,451,559
資本勘定繰入	1,377,305	1,352,192
計	2,828,959	2,803,751

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	岡崎市
病院名	岡崎市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	62,940 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	41	指定病院の状況	救臨が へ災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	680	78.0	75.3	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	680	78.0	75.3	75.4
平均在院日数（一般病床のみ）		11.3	10.7	11.1

設立団体の状況		
人口（人）		384,654
決算規模（千円）		143,415,246
標準財政規模（千円）		79,085,432
財政力指数		1.00
経常収支比率（%）		91.9
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.1
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,784,633			
１ 経常収益	26,355,666			
（１）医業収益	23,498,925			
（うち修正医業収益）	23,378,328			
① 入院収益	15,195,833			
② 外来収益	7,680,012			
診療収入計	22,875,845			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	623,080			
（うち他会計負担金）	120,597			
（２）医業外収益	2,856,741			
（うち国・都道府県補助金）	1,030,156			
（うち他会計補助・負担金）	1,022,003			
（うち長期前受金戻入）	602,414			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	428,967			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	25,802,067			
２ 経常費用	25,752,803			
（１）医業費用	24,599,233			
① 職員給与費	12,275,804	52.2	58.7	51.4
② 材料費	7,113,172	30.3	26.9	32.6
（うち薬品費）	3,918,882	16.7	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	3,188,805	13.6	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,658,571	7.1	8.5	7.4
④ 経費	3,455,213	14.7	21.5	16.9
（うち委託料）	2,143,159	9.1	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	76,736			
⑥ 資産減耗費	19,737			
（２）医業外費用	1,153,570			
（うち支払利息）	129,899	0.6	0.9	0.8
（３）特別損失	49,264			
損益 経常損益	602,863			
損益 純損益	982,566			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.3		96.5	97.6
医業収支比率	95.5		86.0	91.7
修正医業収支比率	95.0		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	4.9		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	4.3		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	97.9		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	37,410,476
１ 固定資産	21,771,074
（１）有形固定資産	20,627,506
（２）無形固定資産	617
（３）投資その他の資産	1,142,951
２ 流動資産	15,639,402
（１）現金及び預金	9,734,094
（２）未収金及び未収収益	5,507,826
（３）貸倒引当金（△）	27,882
（４）貯蔵品	424,090
３ 繰延資産	-
負債合計	22,402,373
１ 固定負債	14,188,159
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,336,306
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	4,851,853
（６）リース債務	-
２ 流動負債	5,091,136
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,843,754
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	829,743
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,311,453
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	3,123,078
（１）長期前受金	20,127,366
（２）長期前受金収益化累計額（△）	17,004,288
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	15,008,103
１ 資本金	12,070,647
２ 剰余金	2,937,456
（１）資本剰余金	3,425,195
（２）利益剰余金	-487,739
負債・資本合計	37,410,476
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,142,600	1,142,600
資本勘定繰入	870,136	870,136
計	2,012,736	2,012,736

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	2.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	岡崎市
病院名	岡崎市立愛知病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		384,654
決算規模 (千円)		143,415,246
標準財政規模 (千円)		79,085,432
財政力指数		1.00
経常収支比率 (%)		91.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	1.1
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	58.7	89.5
② 材料費	-	-	26.9	13.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	5.5
③ 減価償却費	-	-	8.5	14.0
④ 経費	-	-	21.5	46.3
(うち委託料)	-	-	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	1,162,530			
経常収支比率	-		96.5	97.3
医業収支比率	-		86.0	60.9
修正医業収支比率	-		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	-		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額 (△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	2.1
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	一宮市
病院名	一宮市立市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	59,189 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	570	78.5	76.2	75.7
療養	-	-	-	-
結核	18	56.5	51.4	65.8
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	15.3
計	594	77.1	74.6	74.8
平均在院日数（一般病床のみ）		10.9	11.0	11.0

設立団体の状況

人口（人）		380,073
決算規模（千円）		134,032,131
標準財政規模（千円）		80,380,204
財政力指数		0.77
経常収支比率（%）		90.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.5
	将来負担比率（%）	11.0

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,044,024			
１ 経常収益	24,041,563			
（１）医業収益	22,464,590			
（うち修正医業収益）	22,151,415			
① 入院収益	14,474,221			
② 外来収益	7,372,200			
診療収入計	21,846,421			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	618,169			
（うち他会計負担金）	313,175			
（２）医業外収益	1,576,973			
（うち国・都道府県補助金）	306,060			
（うち他会計補助・負担金）	806,631			
（うち長期前受金戻入）	351,173			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	2,461			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	24,369,948			
２ 経常費用	24,368,427			
（１）医業費用	22,951,211			
① 職員給与費	10,602,296	47.2	58.7	51.4
② 材料費	7,352,646	32.7	26.9	32.6
（うち薬品費）	4,183,113	18.6	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	3,153,088	14.0	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,789,425	8.0	8.5	7.4
④ 経費	3,104,936	13.8	21.5	16.9
（うち委託料）	1,779,248	7.9	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	65,709			
⑥ 資産減耗費	36,199			
（２）医業外費用	1,417,216			
（うち支払利息）	182,011	0.8	0.9	0.8
（３）特別損失	1,521			
損益 経常損益	-326,864			
損益 純損益	-325,924			
累積欠損金	6,517,762			
経常収支比率	98.7		96.5	97.6
医業収支比率	97.9		86.0	91.7
修正医業収支比率	96.5		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	4.7		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.0		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	4.7		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	94.1		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	31,341,595
１ 固定資産	19,402,816
（１）有形固定資産	19,145,383
（２）無形固定資産	2,219
（３）投資その他の資産	255,214
２ 流動資産	11,938,779
（１）現金及び預金	7,400,049
（２）未収金及び未収収益	4,329,900
（３）貸倒引当金（△）	17,922
（４）貯蔵品	221,147
３ 繰延資産	-
負債合計	20,842,566
１ 固定負債	16,446,534
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,521,878
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	5,354,306
（６）リース債務	570,350
２ 流動負債	3,602,558
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	682,348
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	795,121
（６）リース債務	354,973
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,677,844
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	793,474
（１）長期前受金	3,957,336
（２）長期前受金収益化累計額（△）	3,163,862
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	10,499,029
１ 資本金	19,188,349
２ 剰余金	-8,689,320
（１）資本剰余金	39,084
（２）利益剰余金	-8,728,404
負債・資本合計	31,341,595
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,119,806	1,119,806
資本勘定繰入	285,548	285,548
計	1,405,354	1,405,354

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	35.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
愛知県

市町村・組合名	一宮市
病院名	一宮市立木曽川市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,560 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	6	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	84	80.8	68.0	76.5
療養	46	94.7	91.5	93.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	85.7	76.7	82.9
平均在院日数（一般病床のみ）		38.3	25.9	8.9

設立団体の状況		
人口 (人)		380,073
決算規模 (千円)		134,032,131
標準財政規模 (千円)		80,380,204
財政力指数		0.77
経常収支比率 (%)		90.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	3.5
	将来負担比率 (%)	11.0

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,347,222			
１ 経常収益	2,344,830			
（１）医業収益	2,067,348			
（うち修正医業収益）	1,997,625			
① 入院収益	1,431,998			
② 外来収益	528,628			
診療収入計	1,960,626			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	106,722			
（うち他会計負担金）	69,723			
（２）医業外収益	277,482			
（うち国・都道府県補助金）	90,925			
（うち他会計補助・負担金）	149,193			
（うち長期前受金戻入）	27,060			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	2,392			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,416,933			
２ 経常費用	2,414,107			
（１）医業費用	2,326,966			
① 職員給与費	1,515,383	73.3	58.7	67.7
② 材料費	256,999	12.4	26.9	18.3
（うち薬品費）	145,957	7.1	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	79,202	3.8	11.7	9.1
③ 減価償却費	115,994	5.6	8.5	10.3
④ 経費	430,156	20.8	21.5	29.4
（うち委託料）	237,276	11.5	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	4,871			
⑥ 資産減耗費	3,563			
（２）医業外費用	87,141			
（うち支払利息）	7,977	0.4	0.9	1.1
（３）特別損失	2,826			
損益 経常損益	-69,277			
損益 純損益	-69,711			
累積欠損金	2,210,641			
経常収支比率	97.1		96.5	95.4
医業収支比率	88.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	85.8		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	88.1		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)

区分	決算額
資産合計	31,341,595
１ 固定資産	19,402,816
（１）有形固定資産	19,145,383
（２）無形固定資産	2,219
（３）投資その他の資産	255,214
２ 流動資産	11,938,779
（１）現金及び預金	7,400,049
（２）未収金及び未収収益	4,329,900
（３）貸倒引当金（△）	17,922
（４）貯蔵品	221,147
３ 繰延資産	-
負債合計	20,842,566
１ 固定負債	16,446,534
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,521,878
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	5,354,306
（６）リース債務	570,350
２ 流動負債	3,602,558
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	682,348
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	795,121
（６）リース債務	354,973
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,677,844
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	793,474
（１）長期前受金	3,957,336
（２）長期前受金収益化累計額（△）	3,163,862
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	10,499,029
１ 資本金	19,188,349
２ 剰余金	-8,689,320
（１）資本剰余金	39,084
（２）利益剰余金	-8,728,404
負債・資本合計	31,341,595
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	218,916	218,916
資本勘定繰入	37,880	37,880
計	256,796	256,796

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	35.6
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	半田市
病院名	半田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	37,828 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨が　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	499	73.5	74.4	71.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	499	73.5	74.4	71.8
平均在院日数（一般病床のみ）		10.4	11.3	11.4

設立団体の状況		
人口 (人)		117,884
決算規模 (千円)		45,880,470
標準財政規模 (千円)		26,454,320
財政力指数		0.96
経常収支比率 (%)		83.4
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	0.6
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書					(千円・%)
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益		15,471,162			
１ 経常収益		15,471,162			
（１）医業収益		14,701,962			
（うち修正医業収益）		14,420,232			
① 入院収益		10,003,426			
② 外来収益		3,967,290			
診療収入計		13,970,716			
③ 繰延運営権対価収益		-			
④ 運営権者更新投資収益		-			
⑤ その他医業収益		731,246			
（うち他会計負担金）		281,730			
（２）医業外収益		769,200			
（うち国・都道府県補助金）		256,235			
（うち他会計補助・負担金）		217,679			
（うち長期前受金戻入）		167,481			
（うち資本費繰入収益）		-			
（３）特別利益		-			
（うち他会計繰入金）		-			
総費用		15,644,082			
２ 経常費用		15,590,203			
（１）医業費用		14,021,192			
① 職員給与費		6,867,227	46.7	58.7	55.7
② 材料費		3,969,336	27.0	26.9	28.9
（うち薬品費）		1,647,969	11.2	14.8	15.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）		2,321,367	15.8	11.7	12.7
③ 減価償却費		878,530	6.0	8.5	7.9
④ 経費		2,225,465	15.1	21.5	18.1
（うち委託料）		1,418,168	9.6	11.5	10.0
⑤ 研究研修費		37,643			
⑥ 資産減耗費		42,991			
（２）医業外費用		1,569,011			
（うち支払利息）		54,204	0.4	0.9	0.9
（３）特別損失		53,879			
損益	経常損益	-119,041			
	純損益	-172,920			
累積欠損金		-			
経常収支比率		99.2		96.5	97.5
医業収支比率		104.9		86.0	90.0
修正医業収支比率		102.8		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率		3.2		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率		3.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率		3.2		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率		96.0		85.4	88.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表	(千円)
区分	決算額
資産合計	29,302,506
１ 固定資産	18,465,402
（１）有形固定資産	18,152,211
（２）無形固定資産	268,220
（３）投資その他の資産	44,971
２ 流動資産	10,837,104
（１）現金及び預金	7,627,860
（２）未収金及び未収収益	2,908,325
（３）貸倒引当金（△）	27,990
（４）貯蔵品	25,857
３ 繰延資産	-
負債合計	17,242,307
１ 固定負債	14,962,774
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,426,016
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	2,450,263
（６）リース債務	86,495
２ 流動負債	1,841,729
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	270,788
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	421,698
（６）リース債務	60,313
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,064,331
（９）前受金及び前受収益	23,600
３ 繰延収益	437,804
（１）長期前受金	2,742,578
（２）長期前受金収益化累計額（△）	2,304,774
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	12,060,199
１ 資本金	9,943,342
２ 剰余金	2,116,857
（１）資本剰余金	90,036
（２）利益剰余金	2,026,821
負債・資本合計	29,302,506
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	499,409	499,409
資本勘定繰入	273,003	273,003
計	772,412	772,412

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	春日井市
病院名	春日井市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	52,283 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	28	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	552	83.8	79.1	76.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	4.3	1.3	5.7
計	558	82.9	78.2	75.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.6	11.0	10.8

設立団体の状況

人口（人）		308,681
決算規模（千円）		117,135,077
標準財政規模（千円）		62,842,594
財政力指数		0.93
経常収支比率（%）		97.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	4.3
	将来負担比率（%）	21.9

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,864,911			
１ 経常収益	19,864,911			
（１）医業収益	18,849,181			
（うち修正医業収益）	18,037,736			
① 入院収益	12,076,750			
② 外来収益	5,549,107			
診療収入計	17,625,857			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,223,324			
（うち他会計負担金）	811,445			
（２）医業外収益	1,015,730			
（うち国・都道府県補助金）	228,252			
（うち他会計補助・負担金）	461,354			
（うち長期前受金戻入）	132,515			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	20,253,047			
２ 経常費用	20,253,047			
（１）医業費用	19,276,668			
① 職員給与費	9,891,482	52.5	58.7	51.4
② 材料費	4,427,164	23.5	26.9	32.6
（うち薬品費）	1,946,838	10.3	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	2,480,326	13.2	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,362,036	7.2	8.5	7.4
④ 経費	3,516,804	18.7	21.5	16.9
（うち委託料）	2,070,152	11.0	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	58,605			
⑥ 資産減耗費	20,577			
（２）医業外費用	976,379			
（うち支払利息）	92,163	0.5	0.9	0.8
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-388,136			
損益 純損益	-388,136			
累積欠損金	1,443,519			
経常収支比率	98.1		96.5	97.6
医業収支比率	97.8		86.0	91.7
修正医業収支比率	93.6		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	6.4		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	91.8		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	34,436,192
１ 固定資産	22,418,771
（１）有形固定資産	21,817,395
（２）無形固定資産	601,301
（３）投資その他の資産	75
２ 流動資産	12,017,421
（１）現金及び預金	8,655,971
（２）未収金及び未収収益	3,150,709
（３）貸倒引当金（△）	45,091
（４）貯蔵品	255,827
３ 繰延資産	-
負債合計	13,723,119
１ 固定負債	8,082,166
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,758,393
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,254,907
（６）リース債務	68,866
２ 流動負債	3,624,897
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,031,269
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	646,958
（６）リース債務	42,278
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,898,638
（９）前受金及び前受収益	4,703
３ 繰延収益	2,016,056
（１）長期前受金	6,098,800
（２）長期前受金収益化累計額（△）	4,082,744
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	20,713,073
１ 資本金	21,970,257
２ 剰余金	-1,257,184
（１）資本剰余金	186,335
（２）利益剰余金	-1,443,519
負債・資本合計	34,436,192
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,278,499	1,272,799
資本勘定繰入	1,035,990	290,233
計	2,314,489	1,563,032

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	7.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
愛知県

市町村・組合名	豊川市
病院名	豊川市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	44,670 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨　へ災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	428	92.1	85.9	80.2
療養	-	-	-	-
結核	8	52.0	77.1	-
精神	65	57.1	46.7	60.4
感染症	-	-	-	-
計	501	86.9	80.6	76.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.6	13.1	11.9

設立団体の状況

人口（人）		184,661
決算規模（千円）		75,547,343
標準財政規模（千円）		42,242,230
財政力指数		0.79
経常収支比率（%）		86.1
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-0.9
	将来負担比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,888,661			
１ 経常収益	18,867,819			
（１）医業収益	17,079,912			
（うち修正医業収益）	16,571,074			
① 入院収益	10,860,823			
② 外来収益	5,330,400			
診療収入計	16,191,223			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	888,689			
（うち他会計負担金）	508,838			
（２）医業外収益	1,787,907			
（うち国・都道府県補助金）	140,286			
（うち他会計補助・負担金）	785,073			
（うち長期前受金戻入）	628,631			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	20,842			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	19,043,447			
２ 経常費用	18,942,475			
（１）医業費用	18,091,535			
① 職員給与費	9,239,775	54.1	58.7	51.4
② 材料費	4,606,073	27.0	26.9	32.6
（うち薬品費）	2,308,951	13.5	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	2,297,122	13.4	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,441,582	8.4	8.5	7.4
④ 経費	2,723,060	15.9	21.5	16.9
（うち委託料）	1,656,670	9.7	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	65,344			
⑥ 資産減耗費	15,701			
（２）医業外費用	850,940			
（うち支払利息）	36,610	0.2	0.9	0.8
（３）特別損失	100,972			
損益 経常損益	-74,656			
損益 純損益	-154,786			
累積欠損金	1,531,302			
経常収支比率	99.6		96.5	97.6
医業収支比率	94.4		86.0	91.7
修正医業収支比率	91.6		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	7.6		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	6.9		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	92.8		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	22,921,653
１ 固定資産	15,645,539
（１）有形固定資産	12,415,863
（２）無形固定資産	478,016
（３）投資その他の資産	2,751,660
２ 流動資産	7,276,114
（１）現金及び預金	4,361,129
（２）未収金及び未収収益	2,816,730
（３）貸倒引当金（△）	22,185
（４）貯蔵品	120,440
３ 繰延資産	-
負債合計	17,122,526
１ 固定負債	13,244,373
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,863,062
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	2,886,364
（６）リース債務	494,947
２ 流動負債	3,296,581
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,183,456
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	606,822
（６）リース債務	27,703
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,390,353
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	581,572
（１）長期前受金	5,161,729
（２）長期前受金収益化累計額（△）	4,580,157
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,799,127
１ 資本金	6,487,493
２ 剰余金	-688,366
（１）資本剰余金	842,936
（２）利益剰余金	-1,531,302
負債・資本合計	22,921,653
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,293,911	1,293,911
資本勘定繰入	590,640	590,640
計	1,884,551	1,884,551

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	9.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	津島市
病院名	津島市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	28,677 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	24	指定病院の状況	救臨　災　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	352	67.2	66.9	72.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	352	67.2	66.9	72.7
平均在院日数（一般病床のみ）		15.3	16.2	16.8

設立団体の状況		
人口 (人)		60,942
決算規模 (千円)		24,256,787
標準財政規模 (千円)		13,931,667
財政力指数		0.71
経常収支比率 (%)		94.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	4.9
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,277,792			
１ 経常収益	8,277,792			
（1）医業収益	7,251,213			
（うち修正医業収益）	6,955,829			
① 入院収益	4,801,839			
② 外来収益	1,945,395			
診療収入計	6,747,234			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	503,979			
（うち他会計負担金）	295,384			
（2）医業外収益	1,026,579			
（うち国・都道府県補助金）	171,598			
（うち他会計補助・負担金）	478,010			
（うち長期前受金戻入）	309,683			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	9,043,172			
２ 経常費用	9,043,172			
（1）医業費用	8,598,929			
① 職員給与費	5,041,114	69.5	58.7	59.2
② 材料費	1,511,923	20.9	26.9	26.1
（うち薬品費）	649,840	9.0	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	858,650	11.8	11.7	11.1
③ 減価償却費	486,154	6.7	8.5	8.5
④ 経費	1,518,515	20.9	21.5	21.3
（うち委託料）	967,406	13.3	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	17,038			
⑥ 資産減耗費	24,185			
（2）医業外費用	444,243			
（うち支払利息）	89,414	1.2	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-765,380			
損益 純損益	-765,380			
累積欠損金	8,168,564			
経常収支比率	91.5		96.5	95.9
医業収支比率	84.3		86.0	86.4
修正医業収支比率	80.9		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	9.3		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	83.0		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	8,707,895
１ 固定資産	6,403,429
（1）有形固定資産	6,276,710
（2）無形固定資産	323
（3）投資その他の資産	126,396
２ 流動資産	2,304,466
（1）現金及び預金	1,048,488
（2）未収金及び未収収益	1,187,816
（3）貸倒引当金（△）	3,272
（4）貯蔵品	71,434
３ 繰延資産	-
負債合計	13,331,088
１ 固定負債	8,447,984
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,069,063
（2）その他の企業債	312,463
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	826,666
（5）引当金	2,120,436
（6）リース債務	119,356
２ 流動負債	2,018,269
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	833,785
（2）その他の企業債	29,758
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	22,749
（4）その他の長期借入金	88,754
（5）引当金	279,926
（6）リース債務	20,461
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	742,336
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	2,864,835
（1）長期前受金	10,332,801
（2）長期前受金収益化累計額（△）	7,467,966
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-4,623,193
１ 資本金	3,504,499
２ 剰余金	-8,127,692
（1）資本剰余金	39,850
（2）利益剰余金	-8,167,542
負債・資本合計	8,707,895
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	4,623,193
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	1,758,358
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	773,394	773,394
資本勘定繰入	538,107	726,117
計	1,311,501	1,499,511

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	112.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	碧南市
病院名	碧南市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透　未　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,427 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	20	指定病院の状況	救　臨　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	255	71.7	64.0	61.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	255	71.7	64.0	61.4
平均在院日数（一般病床のみ）		13.6	12.7	13.6

設立団体の状況		
人口（人）		72,458
決算規模（千円）		33,370,490
標準財政規模（千円）		20,256,863
財政力指数		1.16
経常収支比率（%）		97.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.1
	将来負担比率（%）	2.8

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,405,012			
１ 経常収益	7,356,126			
（１）医業収益	5,882,850			
（うち修正医業収益）	5,737,361			
① 入院収益	3,708,723			
② 外来収益	1,879,955			
診療収入計	5,588,678			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	294,172			
（うち他会計負担金）	145,489			
（２）医業外収益	1,473,276			
（うち国・都道府県補助金）	140,472			
（うち他会計補助・負担金）	1,233,354			
（うち長期前受金戻入）	35,593			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	48,886			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	8,100,439			
２ 経常費用	8,085,249			
（１）医業費用	7,667,853			
① 職員給与費	4,178,091	71.0	58.7	63.9
② 材料費	1,349,664	22.9	26.9	21.1
（うち薬品費）	732,019	12.4	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	571,442	9.7	11.7	10.2
③ 減価償却費	578,794	9.8	8.5	9.3
④ 経費	1,522,281	25.9	21.5	28.2
（うち委託料）	938,579	16.0	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	21,433			
⑥ 資産減耗費	17,590			
（２）医業外費用	417,396			
（うち支払利息）	8,684	0.1	0.9	1.0
（３）特別損失	15,190			
損益 経常損益	-729,123			
損益 純損益	-695,427			
累積欠損金	11,411,207			
経常収支比率	91.0		96.5	93.2
医業収支比率	76.7		86.0	81.2
修正医業収支比率	74.8		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	18.7		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	23.4		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	18.6		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	73.9		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	9,931,168
１ 固定資産	7,022,584
（１）有形固定資産	6,939,032
（２）無形固定資産	56,015
（３）投資その他の資産	27,537
２ 流動資産	2,908,584
（１）現金及び預金	1,835,208
（２）未収金及び未収収益	986,212
（３）貸倒引当金（△）	13,506
（４）貯蔵品	100,583
３ 繰延資産	-
負債合計	4,980,853
１ 固定負債	3,405,484
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,948,531
（２）その他の企業債	457,521
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	999,432
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,288,412
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	322,447
（２）その他の企業債	41,593
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	275,811
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	600,985
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	286,957
（１）長期前受金	1,292,961
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,006,004
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	4,950,315
１ 資本金	16,306,522
２ 剰余金	-11,356,207
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-11,356,207
負債・資本合計	9,931,168
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,078,843	1,378,843
資本勘定繰入	194,999	694,999
計	1,273,842	2,073,842

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	194.0
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
愛知県

市町村・組合名	西尾市
病院名	西尾市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,176 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	22	指定病院の状況	救臨災輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	321	77.0	62.4	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	321	77.0	62.4	61.9
平均在院日数（一般病床のみ）		13.7	13.2	11.8

設立団体の状況		
人口（人）		169,046
決算規模（千円）		65,473,883
標準財政規模（千円）		38,055,272
財政力指数		0.94
経常収支比率（%）		93.8
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	1.6
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,922,222			
１ 経常収益	8,922,222			
（１）医業収益	7,661,513			
（うち修正医業収益）	7,497,403			
① 入院収益	4,714,894			
② 外来収益	2,710,638			
診療収入計	7,425,532			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	235,981			
（うち他会計負担金）	164,110			
（２）医業外収益	1,260,709			
（うち国・都道府県補助金）	135,985			
（うち他会計補助・負担金）	1,054,726			
（うち長期前受金戻入）	52,266			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	9,645,723			
２ 経常費用	9,644,273			
（１）医業費用	9,188,414			
① 職員給与費	4,895,416	63.9	58.7	59.2
② 材料費	1,932,288	25.2	26.9	26.1
（うち薬品費）	1,261,761	16.5	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	664,266	8.7	11.7	11.1
③ 減価償却費	626,020	8.2	8.5	8.5
④ 経費	1,714,418	22.4	21.5	21.3
（うち委託料）	1,229,863	16.1	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	13,888			
⑥ 資産減耗費	6,384			
（２）医業外費用	455,859			
（うち支払利息）	8,660	0.1	0.9	1.0
（３）特別損失	1,450			
損益 経常損益	-722,051			
損益 純損益	-723,501			
累積欠損金	9,826,110			
経常収支比率	92.5		96.5	95.9
医業収支比率	83.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	81.6		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.9		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	13.7		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	79.9		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	11,755,864
１ 固定資産	8,105,615
（１）有形固定資産	7,687,556
（２）無形固定資産	42
（３）投資その他の資産	418,017
２ 流動資産	3,650,249
（１）現金及び預金	2,369,181
（２）未収金及び未収収益	1,197,072
（３）貸倒引当金（△）	2,057
（４）貯蔵品	75,600
３ 繰延資産	-
負債合計	5,572,459
１ 固定負債	3,443,209
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,644,516
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	663,336
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,135,357
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,720,696
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	578,971
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	69,999
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	326,272
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	713,061
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	408,554
（１）長期前受金	1,673,916
（２）長期前受金収益化累計額（△）	1,265,362
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	6,183,405
１ 資本金	12,042,631
２ 剰余金	-5,859,226
（１）資本剰余金	3,966,884
（２）利益剰余金	-9,826,110
負債・資本合計	11,755,864
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,218,836	1,218,836
資本勘定繰入	389,036	755,108
計	1,607,872	1,973,944

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	128.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	蒲郡市
病院名	蒲郡市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,534 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	30	指定病院の状況	救臨　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	382	76.5	73.6	73.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	382	76.5	73.6	73.1
平均在院日数（一般病床のみ）		13.9	14.4	14.3

設立団体の状況		
人口 (人)		79,538
決算規模 (千円)		46,060,219
標準財政規模 (千円)		18,493,270
財政力指数		0.80
経常収支比率 (%)		92.8
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	0.9
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,712,523			
１ 経常収益	9,712,523			
（１）医業収益	8,334,989			
（うち修正医業収益）	8,172,009			
① 入院収益	5,739,543			
② 外来収益	2,183,540			
診療収入計	7,923,083			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	411,906			
（うち他会計負担金）	162,980			
（２）医業外収益	1,377,534			
（うち国・都道府県補助金）	364,868			
（うち他会計補助・負担金）	868,030			
（うち長期前受金戻入）	62,317			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	10,091,633			
２ 経常費用	10,091,633			
（１）医業費用	9,525,670			
① 職員給与費	4,805,450	57.7	58.7	59.2
② 材料費	2,165,477	26.0	26.9	26.1
（うち薬品費）	1,101,681	13.2	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,059,889	12.7	11.7	11.1
③ 減価償却費	714,670	8.6	8.5	8.5
④ 経費	1,798,112	21.6	21.5	21.3
（うち委託料）	1,054,541	12.7	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	25,692			
⑥ 資産減耗費	16,269			
（２）医業外費用	565,963			
（うち支払利息）	71,630	0.9	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-379,110			
損益 純損益	-379,110			
累積欠損金	12,348,554			
経常収支比率	96.2		96.5	95.9
医業収支比率	87.5		86.0	86.4
修正医業収支比率	85.8		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.6		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	10.6		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	86.0		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	13,510,230
１ 固定資産	9,307,753
（１）有形固定資産	9,124,114
（２）無形固定資産	2,954
（３）投資その他の資産	180,685
２ 流動資産	4,202,477
（１）現金及び預金	3,355,677
（２）未収金及び未収収益	773,396
（３）貸倒引当金（△）	12,886
（４）貯蔵品	86,290
３ 繰延資産	-
負債合計	6,650,985
１ 固定負債	3,847,259
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,183,432
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,661,245
（６）リース債務	2,582
２ 流動負債	2,370,970
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,025,479
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	351,501
（６）リース債務	3,319
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	975,051
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	432,756
（１）長期前受金	1,199,658
（２）長期前受金収益化累計額（△）	766,902
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	6,859,245
１ 資本金	19,142,930
２ 剰余金	-12,283,685
（１）資本剰余金	64,869
（２）利益剰余金	-12,348,554
負債・資本合計	13,510,230
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,106,670	1,031,010
資本勘定繰入	802,610	671,379
計	1,909,280	1,702,389

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	148.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県
市町村・組合名	常滑市
病院名	常滑市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,800 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	26	指定病院の状況	救臨感　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	264	70.8	61.8	65.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	266	70.3	61.3	64.9
平均在院日数（一般病床のみ）		17.9	17.9	16.6

設立団体の状況

人口（人）		58,710
決算規模（千円）		27,889,644
標準財政規模（千円）		14,443,612
財政力指数		0.93
経常収支比率（%）		86.9
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.0
	将来負担比率（%）	101.2

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,806,275			
１ 経常収益	6,755,286			
（１）医業収益	6,020,648			
（うち修正医業収益）	5,892,671			
① 入院収益	3,497,735			
② 外来収益	1,965,111			
診療収入計	5,462,846			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	557,802			
（うち他会計負担金）	127,977			
（２）医業外収益	734,638			
（うち国・都道府県補助金）	313,620			
（うち他会計補助・負担金）	221,604			
（うち長期前受金戻入）	121,865			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	50,989			
（うち他会計繰入金）	2,867			
総費用	7,456,504			
２ 経常費用	7,441,246			
（１）医業費用	7,054,990			
① 職員給与費	4,013,452	66.7	58.7	63.9
② 材料費	1,162,489	19.3	26.9	21.1
（うち薬品費）	727,360	12.1	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	434,348	7.2	11.7	10.2
③ 減価償却費	598,784	9.9	8.5	9.3
④ 経費	1,265,209	21.0	21.5	28.2
（うち委託料）	777,744	12.9	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	12,554			
⑥ 資産減耗費	2,502			
（２）医業外費用	386,256			
（うち支払利息）	66,900	1.1	0.9	1.0
（３）特別損失	15,258			
損益 経常損益	-685,960			
損益 純損益	-650,229			
累積欠損金	12,301,736			
経常収支比率	90.8		96.5	93.2
医業収支比率	85.3		86.0	81.2
修正医業収支比率	83.5		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	5.2		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.8		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	5.2		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	86.1		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	14,294,998
１ 固定資産	10,845,053
（１）有形固定資産	10,797,069
（２）無形固定資産	620
（３）投資その他の資産	47,364
２ 流動資産	3,449,945
（１）現金及び預金	2,376,856
（２）未収金及び未収収益	1,028,053
（３）貸倒引当金（△）	-
（４）貯蔵品	44,949
３ 繰延資産	-
負債合計	11,839,206
１ 固定負債	8,456,012
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,364,126
（２）その他の企業債	661,180
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,430,706
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,546,318
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	623,638
（２）その他の企業債	131,860
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	266,048
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	490,568
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,836,876
（１）長期前受金	2,506,300
（２）長期前受金収益化累計額（△）	669,424
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	2,455,792
１ 資本金	14,663,403
２ 剰余金	-12,207,611
（１）資本剰余金	94,125
（２）利益剰余金	-12,301,736
負債・資本合計	14,294,998
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	495,146	352,448
資本勘定繰入	275,481	407,341
計	770,627	759,789

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	204.3
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	市町村・組合名	病院名
愛知県	小牧市	小牧市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	62,510 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	-	指定病院の状況	救臨が　災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	520	80.4	78.2	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	80.4	78.2	81.6
平均在院日数（一般病床のみ）		10.0	10.7	11.0

設立団体の状況

人口 (人)		148,831
決算規模 (千円)		59,446,785
標準財政規模 (千円)		36,202,034
財政力指数		1.18
経常収支比率 (%)		92.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	0.8
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,690,451			
１ 経常収益	24,575,903			
（１）医業収益	22,100,272			
（うち修正医業収益）	21,933,847			
① 入院収益	13,664,947			
② 外来収益	7,519,391			
診療収入計	21,184,338			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	915,934			
（うち他会計負担金）	166,425			
（２）医業外収益	2,475,631			
（うち国・都道府県補助金）	255,579			
（うち他会計補助・負担金）	651,223			
（うち長期前受金戻入）	1,217,408			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	114,548			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	26,527,106			
２ 経常費用	25,802,165			
（１）医業費用	24,379,151			
① 職員給与費	10,361,489	46.9	58.7	51.4
② 材料費	7,445,165	33.7	26.9	32.6
（うち薬品費）	4,093,327	18.5	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	3,351,838	15.2	11.7	13.9
③ 減価償却費	2,622,892	11.9	8.5	7.4
④ 経費	3,851,834	17.4	21.5	16.9
（うち委託料）	2,755,671	12.5	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	64,671			
⑥ 資産減耗費	33,100			
（２）医業外費用	1,423,014			
（うち支払利息）	72,243	0.3	0.9	0.8
（３）特別損失	724,941			
損益 経常損益	-1,226,262			
損益 純損益	-1,836,655			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.2		96.5	97.6
医業収支比率	90.7		86.0	91.7
修正医業収支比率	90.0		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	3.7		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	3.3		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	92.1		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)

区分	決算額
資産合計	42,411,953
１ 固定資産	27,583,764
（１）有形固定資産	25,337,128
（２）無形固定資産	376,705
（３）投資その他の資産	1,869,931
２ 流動資産	14,828,189
（１）現金及び預金	10,425,871
（２）未収金及び未収収益	4,174,685
（３）貸倒引当金（△）	49,737
（４）貯蔵品	277,370
３ 繰延資産	-
負債合計	24,591,834
１ 固定負債	16,272,520
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,176,983
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,426,265
（６）リース債務	669,272
２ 流動負債	4,396,366
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,419,402
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	657,736
（６）リース債務	77,247
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,164,944
（９）前受金及び前受収益	1,061
３ 繰延収益	3,922,948
（１）長期前受金	10,385,719
（２）長期前受金収益化累計額（△）	6,462,771
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	17,820,119
１ 資本金	15,358,632
２ 剰余金	2,645,038
（１）資本剰余金	380,358
（２）利益剰余金	2,264,680
負債・資本合計	42,411,953
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	813,536	817,648
資本勘定繰入	859,359	893,437
計	1,672,895	1,711,085

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	稲沢市
病院名	稲沢市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,142 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	19	指定病院の状況	救 臨 輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	278	60.2	51.5	48.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	278	60.2	51.5	48.6
平均在院日数（一般病床のみ）		17.1	15.6	14.0

設立団体の状況

人口（人）		134,751
決算規模（千円）		50,545,223
標準財政規模（千円）		30,453,898
財政力指数		0.84
経常収支比率（%）		92.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.2
	将来負担比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,635,565			
１ 経常収益	6,629,052			
（１）医業収益	5,236,136			
（うち修正医業収益）	4,982,227			
① 入院収益	3,201,541			
② 外来収益	1,543,904			
診療収入計	4,745,445			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	490,691			
（うち他会計負担金）	253,909			
（２）医業外収益	1,392,916			
（うち国・都道府県補助金）	311,182			
（うち他会計補助・負担金）	615,079			
（うち長期前受金戻入）	328,538			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	6,513			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	7,268,771			
２ 経常費用	7,265,018			
（１）医業費用	6,885,277			
① 職員給与費	3,839,309	73.3	58.7	63.9
② 材料費	995,666	19.0	26.9	21.1
（うち薬品費）	452,653	8.6	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	542,413	10.4	11.7	10.2
③ 減価償却費	616,860	11.8	8.5	9.3
④ 経費	1,384,258	26.4	21.5	28.2
（うち委託料）	945,400	18.1	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	31,415			
⑥ 資産減耗費	17,769			
（２）医業外費用	379,741			
（うち支払利息）	74,503	1.4	0.9	1.0
（３）特別損失	3,753			
損益 経常損益	-635,966			
損益 純損益	-633,206			
累積欠損金	1,351,063			
経常収支比率	91.2		96.5	93.2
医業収支比率	76.0		86.0	81.2
修正医業収支比率	72.4		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	13.1		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	79.3		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	13,257,846
１ 固定資産	8,791,297
（１）有形固定資産	8,577,561
（２）無形固定資産	-
（３）投資その他の資産	213,736
２ 流動資産	4,466,549
（１）現金及び預金	3,595,659
（２）未収金及び未収収益	840,488
（３）貸倒引当金（△）	5,436
（４）貯蔵品	35,838
３ 繰延資産	-
負債合計	10,145,540
１ 固定負債	7,369,852
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,070,104
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,299,748
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,684,324
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	547,030
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	199,966
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	909,981
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,091,364
（１）長期前受金	5,055,134
（２）長期前受金収益化累計額（△）	3,963,770
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	3,112,306
１ 資本金	3,878,651
２ 剰余金	-766,345
（１）資本剰余金	167,777
（２）利益剰余金	-934,122
負債・資本合計	13,257,846
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	859,104	868,988
資本勘定繰入	255,100	280,761
計	1,114,204	1,149,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	25.8
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	新城市
病院名	新城市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	24,006 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	22	指定病院の状況	救臨　へ災　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	199	48.0	48.3	46.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	48.0	48.3	46.9
平均在院日数（一般病床のみ）		14.7	13.6	12.7

設立団体の状況		
人口（人）		44,355
決算規模（千円）		25,386,500
標準財政規模（千円）		15,029,614
財政力指数		0.53
経常収支比率（%）		92.5
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.9
	将来負担比率（%）	49.0

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,902,365			
１ 経常収益	3,893,707			
（1）医業収益	2,940,701			
（うち修正医業収益）	2,912,506			
① 入院収益	1,612,938			
② 外来収益	1,117,305			
診療収入計	2,730,243			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	210,458			
（うち他会計負担金）	28,195			
（2）医業外収益	953,006			
（うち国・都道府県補助金）	103,018			
（うち他会計補助・負担金）	647,558			
（うち長期前受金戻入）	137,179			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	8,658			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,978,974			
２ 経常費用	3,978,548			
（1）医業費用	3,815,629			
① 職員給与費	2,213,813	75.3	58.7	67.7
② 材料費	588,044	20.0	26.9	18.3
（うち薬品費）	315,075	10.7	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	251,109	8.5	11.7	9.1
③ 減価償却費	302,440	10.3	8.5	10.3
④ 経費	699,076	23.8	21.5	29.4
（うち委託料）	390,469	13.3	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	8,963			
⑥ 資産減耗費	3,293			
（2）医業外費用	162,919			
（うち支払利息）	9,176	0.3	0.9	1.1
（3）特別損失	426			
損益 経常損益	-84,841			
損益 純損益	-76,609			
累積欠損金	1,896,730			
経常収支比率	97.9		96.5	95.4
医業収支比率	77.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	76.3		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	17.4		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	23.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	17.3		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	80.9		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	7,157,792
１ 固定資産	3,291,863
（1）有形固定資産	2,720,859
（2）無形固定資産	5,861
（3）投資その他の資産	565,143
２ 流動資産	3,865,929
（1）現金及び預金	3,047,548
（2）未収金及び未収収益	768,049
（3）貸倒引当金（△）	1,315
（4）貯蔵品	51,647
３ 繰延資産	-
負債合計	2,516,937
１ 固定負債	1,103,641
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	191,935
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	909,230
（6）リース債務	2,476
２ 流動負債	575,500
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,284
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	140,383
（6）リース債務	4,614
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	285,961
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	837,796
（1）長期前受金	2,886,876
（2）長期前受金収益化累計額（△）	2,049,080
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	4,640,855
１ 資本金	6,408,809
２ 剰余金	-1,767,954
（1）資本剰余金	2,593
（2）利益剰余金	-1,770,547
負債・資本合計	7,157,792
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	675,753	675,753
資本勘定繰入	231,247	231,247
計	907,000	907,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	64.5
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	知多市
病院名	知多市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況

人口（人）		84,364
決算規模（千円）		31,151,282
標準財政規模（千円）		18,381,714
財政力指数		0.92
経常収支比率（%）		94.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	2.9
	将来負担比率（%）	19.3

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,599			
１ 経常収益	11,599			
（1）医業収益	-			
（うち修正医業収益）	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
（うち他会計負担金）	-			
（2）医業外収益	11,599			
（うち国・都道府県補助金）	-			
（うち他会計補助・負担金）	11,599			
（うち長期前受金戻入）	-			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	11,599			
２ 経常費用	11,599			
（1）医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	58.7	59.2
② 材料費	-	-	26.9	26.1
（うち薬品費）	-	-	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	-	-	11.7	11.1
③ 減価償却費	-	-	8.5	8.5
④ 経費	-	-	21.5	21.3
（うち委託料）	-	-	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
（2）医業外費用	11,599			
（うち支払利息）	11,599	-	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.9
医業収支比率	-		86.0	86.4
修正医業収支比率	-		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	-		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	-
１ 固定資産	-
（1）有形固定資産	-
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	-
（1）現金及び預金	-
（2）未収金及び未収収益	-
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	-
１ 固定負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	-
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	-
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	-
（1）長期前受金	-
（2）長期前受金収益化累計額（△）	-
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-
１ 資本金	-
２ 剰余金	-
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	5,799	11,599
資本勘定繰入	17,430	34,859
計	23,229	46,458

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	高浜市
病院名	市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		46,106
決算規模 (千円)		18,643,733
標準財政規模 (千円)		10,242,874
財政力指数		1.01
経常収支比率 (%)		97.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.9
	将来負担比率 (%)	28.8

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,336			
1 経常収益	6,336			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
① 入院収益	-			
② 外来収益	-			
診療収入計	-			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,336			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,336			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,336			
2 経常費用	6,336			
(1) 医業費用	-			
① 職員給与費	-	-	58.7	67.7
② 材料費	-	-	26.9	18.3
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1
③ 減価償却費	-	-	8.5	10.3
④ 経費	-	-	21.5	29.4
(うち委託料)	-	-	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	-			
⑥ 資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,336			
(うち支払利息)	6,336	-	0.9	1.1
(3) 特別損失	-			
損益 経常損益	-			
損益 純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		96.5	95.4
医業収支比率	-		86.0	79.1
修正医業収支比率	-		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	-		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金 (△)	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額 (△)	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額 (△)	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額 (△)	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額 (△)	-
資本不足額（繰延収益控除後） (△)	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,224	6,336
資本勘定繰入	37,071	55,607
計	41,295	61,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	みよし市
病院名	みよし市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,570 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	16	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	77.6	68.2	66.3
療養	54	88.2	86.7	87.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	114	82.5	76.4	75.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.0	12.6	12.3

設立団体の状況		
人口 (人)		61,952
決算規模 (千円)		27,786,678
標準財政規模 (千円)		18,774,719
財政力指数		1.34
経常収支比率 (%)		84.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	2.2
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,099,038			
１ 経常収益	3,099,038			
（1）医業収益	2,345,329			
（うち修正医業収益）	2,218,572			
① 入院収益	1,136,867			
② 外来収益	834,038			
診療収入計	1,970,905			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	374,424			
（うち他会計負担金）	126,757			
（2）医業外収益	753,709			
（うち国・都道府県補助金）	51,270			
（うち他会計補助・負担金）	490,459			
（うち長期前受金戻入）	158,993			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,167,395			
２ 経常費用	3,166,795			
（1）医業費用	2,973,451			
① 職員給与費	1,712,891	73.0	58.7	67.7
② 材料費	409,223	17.4	26.9	18.3
（うち薬品費）	262,124	11.2	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	123,282	5.3	11.7	9.1
③ 減価償却費	191,519	8.2	8.5	10.3
④ 経費	631,277	26.9	21.5	29.4
（うち委託料）	355,162	15.1	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	6,875			
⑥ 資産減耗費	21,666			
（2）医業外費用	193,344			
（うち支払利息）	24,214	1.0	0.9	1.1
（3）特別損失	600			
損益 経常損益	-67,757			
損益 純損益	-68,357			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.9		96.5	95.4
医業収支比率	78.9		86.0	79.1
修正医業収支比率	74.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	19.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	26.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	19.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	78.4		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	5,960,676
１ 固定資産	3,853,225
（1）有形固定資産	3,851,904
（2）無形固定資産	121
（3）投資その他の資産	1,200
２ 流動資産	2,107,451
（1）現金及び預金	1,553,614
（2）未収金及び未収収益	535,242
（3）貸倒引当金（△）	5,005
（4）貯蔵品	18,834
３ 繰延資産	-
負債合計	4,042,003
１ 固定負債	1,738,566
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,628,835
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	109,731
（6）リース債務	-
２ 流動負債	1,027,682
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	178,165
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	98,203
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	751,314
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,275,755
（1）長期前受金	4,724,271
（2）長期前受金収益化累計額（△）	3,448,516
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,918,673
１ 資本金	956,315
２ 剰余金	962,358
（1）資本剰余金	381,280
（2）利益剰余金	581,078
負債・資本合計	5,960,676
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	578,935	617,216
資本勘定繰入	221,350	323,422
計	800,285	940,638

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和５年度)

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	あま市
病院名	あま市民病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,927 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	13	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	180	74.8	65.6	67.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	74.8	65.6	67.6
平均在院日数（一般病床のみ）		11.1	9.5	10.4

設立団体の状況		
人口 (人)		86,126
決算規模 (千円)		35,398,350
標準財政規模 (千円)		19,860,971
財政力指数		0.68
経常収支比率 (%)		92.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	6.4
	将来負担比率 (%)	55.8

損益計算書 (千円・%)					
区分		決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益		715,878			
１ 経常収益		497,988			
（1）医業収益		148,100			
（うち修正医業収益）		31,652			
① 入院収益		-			
② 外来収益		-			
診療収入計		-			
③ 繰延運営権対価収益		-			
④ 運営権者更新投資収益		-			
⑤ その他医業収益		148,100			
（うち他会計負担金）		116,448			
（2）医業外収益		349,888			
（うち国・都道府県補助金）		-			
（うち他会計補助・負担金）		116,108			
（うち長期前受金戻入）		169,987			
（うち資本費繰入収益）		-			
（3）特別利益		217,890			
（うち他会計繰入金）		-			
総費用		587,935			
２ 経常費用		584,464			
（1）医業費用		477,920			
① 職員給与費		18,296	12.4	58.7	67.7
② 材料費		-	-	26.9	18.3
（うち薬品費）		-	-	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）		-	-	11.7	9.1
③ 減価償却費		255,461	172.5	8.5	10.3
④ 経費		203,607	137.5	21.5	29.4
（うち委託料）		13,627	9.2	11.5	13.6
⑤ 研究研修費		-			
⑥ 資産減耗費		556			
（2）医業外費用		106,544			
（うち支払利息）		73,061	49.3	0.9	1.1
（3）特別損失		3,471			
損益	経常損益	-86,476			
	純損益	127,943			
累積欠損金		2,065,695			
経常収支比率		85.2		96.5	95.4
医業収支比率		31.0		86.0	79.1
修正医業収支比率		6.6		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率		46.7		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率		157.0		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率		32.5		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率		45.4		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	7,323,044
１ 固定資産	6,959,539
（1）有形固定資産	6,604,406
（2）無形固定資産	1,475
（3）投資その他の資産	353,658
２ 流動資産	363,505
（1）現金及び預金	362,195
（2）未収金及び未収収益	2,144
（3）貸倒引当金（△）	834
（4）貯蔵品	-
３ 繰延資産	-
負債合計	7,450,703
１ 固定負債	6,232,413
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,232,413
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	521,158
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	514,047
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	1,608
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	2,961
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	697,132
（1）長期前受金	2,741,958
（2）長期前受金収益化累計額（△）	2,044,826
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-127,659
１ 資本金	1,938,036
２ 剰余金	-2,065,695
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-2,065,695
負債・資本合計	7,323,044
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	127,659
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	183,390	232,556
資本勘定繰入	231,760	246,598
計	415,150	479,154

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	1394.8
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	愛知県

市町村・組合名	公立陶生病院組合
病院名	公立陶生病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	66,673 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	30	指定病院の状況	救臨が感　災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	602	84.9	84.9	85.2
療養	-	-	-	-
結核	25	38.6	34.9	55.4
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	-	-
計	633	82.3	82.1	83.2
平均在院日数（一般病床のみ）		10.9	11.5	11.3

設立団体の状況

人口（人）		-
決算規模（千円）		-
標準財政規模（千円）		-
財政力指数		-
経常収支比率（%）		-
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,928,521			
１ 経常収益	26,902,603			
（１）医業収益	24,949,588			
（うち修正医業収益）	24,393,162			
① 入院収益	13,972,326			
② 外来収益	9,934,410			
診療収入計	23,906,736			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,042,852			
（うち他会計負担金）	556,426			
（２）医業外収益	1,953,015			
（うち国・都道府県補助金）	507,371			
（うち他会計補助・負担金）	828,693			
（うち長期前受金戻入）	346,991			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	25,918			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	27,567,775			
２ 経常費用	27,567,775			
（１）医業費用	25,943,885			
① 職員給与費	11,885,291	47.6	58.7	51.4
② 材料費	7,621,055	30.5	26.9	32.6
（うち薬品費）	5,222,225	20.9	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	2,389,848	9.6	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,873,111	7.5	8.5	7.4
④ 経費	4,471,042	17.9	21.5	16.9
（うち委託料）	2,799,737	11.2	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	75,488			
⑥ 資産減耗費	17,898			
（２）医業外費用	1,623,890			
（うち支払利息）	184,379	0.7	0.9	0.8
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-665,172			
損益 純損益	-639,254			
累積欠損金	1,419,485			
経常収支比率	97.6		96.5	97.6
医業収支比率	96.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	94.0		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	5.1		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	5.1		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	92.6		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	34,340,238
１ 固定資産	24,928,735
（１）有形固定資産	23,654,914
（２）無形固定資産	3,152
（３）投資その他の資産	1,270,669
２ 流動資産	9,411,503
（１）現金及び預金	5,029,144
（２）未収金及び未収収益	4,128,926
（３）貸倒引当金（△）	54,179
（４）貯蔵品	307,612
３ 繰延資産	-
負債合計	31,834,793
１ 固定負債	24,037,363
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,313,008
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	4,724,355
（６）リース債務	-
２ 流動負債	4,669,469
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,521,134
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	801,786
（６）リース債務	13,506
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	2,239,207
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	3,127,961
（１）長期前受金	17,362,169
（２）長期前受金収益化累計額（△）	14,234,208
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	2,505,445
１ 資本金	1,003,007
２ 剰余金	1,502,438
（１）資本剰余金	2,427,146
（２）利益剰余金	-924,708
負債・資本合計	34,340,238
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,739,474	1,385,119
資本勘定繰入	1,101,986	214,881
計	2,841,460	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	5.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
愛知県

市町村・組合名	西知多医療厚生組合（事業会計分）
病院名	西知多総合病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	44,575 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	32	指定病院の状況	救臨　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	468	69.3	67.5	68.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	468	69.3	67.5	68.1
平均在院日数（一般病床のみ）		12.2	12.5	12.8

設立団体の状況		
人口 (人)		-
決算規模 (千円)		-
標準財政規模 (千円)		-
財政力指数		-
経常収支比率 (%)		-
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	-
	将来負担比率 (%)	-

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,031,501			
１ 経常収益	14,729,089			
（１）医業収益	12,764,668			
（うち修正医業収益）	12,505,778			
① 入院収益	7,982,247			
② 外来収益	3,743,181			
診療収入計	11,725,428			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,039,240			
（うち他会計負担金）	258,890			
（２）医業外収益	1,964,421			
（うち国・都道府県補助金）	401,602			
（うち他会計補助・負担金）	1,188,040			
（うち長期前受金戻入）	283,418			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	302,412			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	14,622,691			
２ 経常費用	14,533,490			
（１）医業費用	13,949,603			
① 職員給与費	7,023,644	55.0	58.7	55.7
② 材料費	3,139,856	24.6	26.9	28.9
（うち薬品費）	1,617,575	12.7	14.8	15.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,506,768	11.8	11.7	12.7
③ 減価償却費	1,178,321	9.2	8.5	7.9
④ 経費	2,568,338	20.1	21.5	18.1
（うち委託料）	1,783,874	14.0	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	38,796			
⑥ 資産減耗費	648			
（２）医業外費用	583,887			
（うち支払利息）	8,859	0.1	0.9	0.9
（３）特別損失	89,201			
損益 経常損益	195,599			
損益 純損益	408,810			
累積欠損金	1,385,900			
経常収支比率	101.3		96.5	97.5
医業収支比率	91.5		86.0	90.0
修正医業収支比率	89.6		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.8		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	9.6		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	91.4		85.4	88.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	20,401,281
１ 固定資産	12,886,378
（１）有形固定資産	12,214,348
（２）無形固定資産	1,621
（３）投資その他の資産	670,409
２ 流動資産	7,514,903
（１）現金及び預金	5,296,724
（２）未収金及び未収収益	2,033,156
（３）貸倒引当金（△）	6,950
（４）貯蔵品	188,128
３ 繰延資産	-
負債合計	17,314,498
１ 固定負債	13,531,268
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,325,840
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	1,205,428
（６）リース債務	-
２ 流動負債	2,685,896
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,008,244
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	442,220
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	1,179,210
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	1,097,334
（１）長期前受金	5,879,126
（２）長期前受金収益化累計額（△）	4,781,792
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	3,086,783
１ 資本金	4,394,204
２ 剰余金	-1,307,421
（１）資本剰余金	78,479
（２）利益剰余金	-1,385,900
負債・資本合計	20,401,281
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,312,130	1,446,930
資本勘定繰入	610,220	644,770
計	1,922,350	2,091,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	10.9
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。